



株式会社イオンファンタジー

目次

- 1. 会社概要
- 2.2017年2月期第3四半期累計期間 連結決算概要
- 3.2017年2月期第3四半期累計期間 重点取組み概要
- 4. 2017年2月期 連結業績予想

【参考資料】

- ① 単体資料
- ②重点戦略・海外事業戦略





会社概要



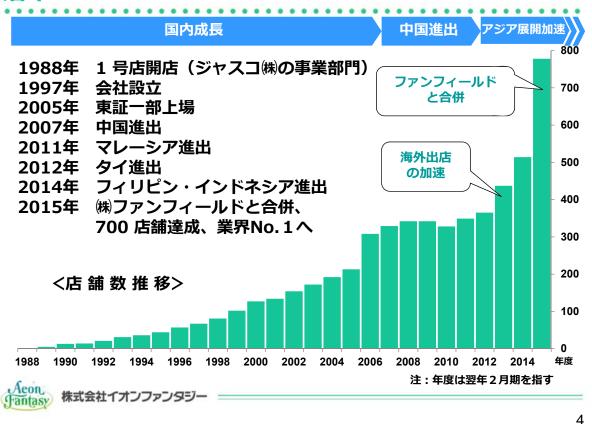


会社概要

- 1)商号 株式会社イオンファンタジー
- 2) 所在地 千葉県千葉市美浜区中瀬一丁目5番地1
- 3) 設立 1997年2月14日
- 4) 資本金 17億47百万円
- 5)株主 イオン株式会社 65.5%、その他 34.5%
- 6)市場 東京証券取引所 市場第一部
- 7)事業 ショッピングセンター内「アミューズメント施設」 及び「インドアプレイグラウンド」の運営



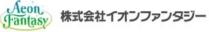
沿革



アミューズメント施設運営企業 業界No.1

順位	企業名	売上実績 (2015年度)
1位	イオンファンタジー	588億円
2位	A社	437億円
3位	B社	380億円
4位	C社	365億円
5位	D社	147億円
6位	E社	144億円

※各社の売上高は海外を含めた連結ベースのアミューズメント施設売上額



2017年2月期第3四半期

累計期間

連結決算概要





株式会社イオンファンタジー

2017年2月期第3四半期累計期間の連結業績

- ■売上高は、国内既存店が好調であること、合併効果、及び海外での 積極出店により前年同期比12.3%の増収。同期間では過去最高。
- ■営業利益、経常利益、四半期純利益ともに大幅増益。

2017年2月期第3四半期(2016年3月1日~2016年11月30日)

(単位:百万円)

	2016/2期 第3四半期 (前期)	2017/2期 第3四半期 (当期)	前期比 増減率
売上高	42,118	47,312	+12.3%
売上総利益	3,948	5,020	+27.2%
営業利益	1,105	1,933	+74.8%
経常利益	834	1,751	+109.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	247	662	+167.9%
1株当たり四半期純利益	12.91円	33.65円	20.74円増



2017年2月期第3四半期累計期間セグメント情報

(単位:百万円)

		海外			連結		
	国内	中国	アセアン	セアン 計		連結計	
売上高	40,070 (+11.5%)	4,916 (+12.3%)	2,324 (+25.6%)	7,240 (+16.2%)	(-)	47,312 (+12.3%)	
営業利益	2,189 (+951)	△112 (△153)	△143 (+29)	△ 256 (△124)	(—)	1,933 (+827)	

売上高()内は前年同期比増減率 営業利益()内は前年同期増減額



Aeon Gantasy 株式会社イオンファンタジー

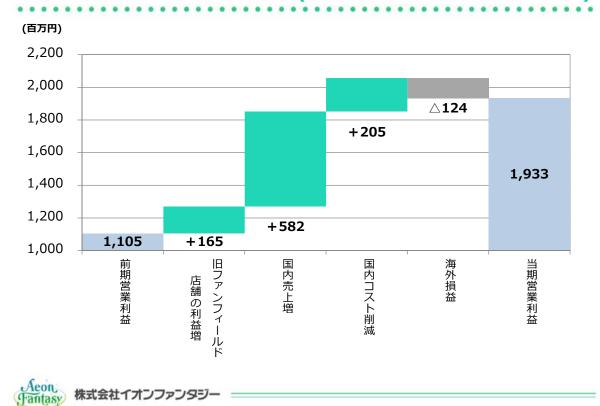
8

2017年2月期第3四半期トピックス

増収増益の 達成	国内既存店が好調であること、2015年6月の合併効果、 及び海外事業の積極出店により、第3四半期連結累計期間 で増収増益を達成。売上高は同連結累計期間で過去最高。
国内遊戯機械 売上の伸長	既存店売上伸び率がプラスになり1年を経過。引き続きプラス基調が続く。第3四半期連結会計期間の既存店伸び率は+6.7%。
国内商品売上の 回復	9月に31ヶ月ぶりに既存店伸び率がプラスとなる。第3四半期連結会計期間の既存店伸び率は+7.3%。
ネットを利用した プロモーション へのシフト	従来の店内イベント中心のプロモーションから本年度は SNSマーケティングの強化や会員制アプリの開始等ネットを利用したプロモーションヘシフト。
中国事業の 表彰	イオンファンタジー中国がアプリ会員システムを評価いた だき、中国チェーンストア協会より「イノベーション・お 客さま体験革新賞」を受賞。

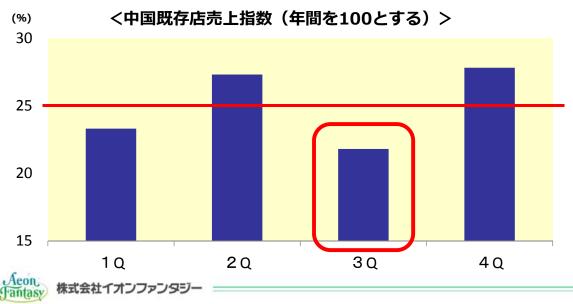


営業利益 要因別増減分析(2017年2月期第3四半期累計期間)



中国事業の第3四半期

中国の第3四半期は売上指数が低い期間であるため構造上営業損失が発生するものの、計画通りの進捗。店舗数の拡大とともに第1四半期および第3四半期は損失が拡大し、第2四半期および第4四半期は利益が拡大する見込み。



10

連結貸借対照表

2017年2月期第3四半期期末(2016年11月30日現在)

(単位:百万円)

	2015/	2期末	2016/	/2期末 3Q其			期首に 対する
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	増減
流動資産	7,989	26.6%	8,716	21.2%	10,150	23.9%	+1,434
固定資産	22,051	73.4%	32,324	78.8%	32,294	76.1%	△29
資産合計	30,041	100.0%	41,040	100.0%	42,444	100.0%	+1,404
流動負債	7,956	26.5%	11,131	27.1%	10,789	25.4%	△342
固定負債	476	1.6%	5,164	12.6%	7,120	16.8%	+1,955
負債合計	8,432	28.1%	16,296	39.7%	17,909	42.2%	+1,613
純資産合計	21,608	71.9%	24,744	60.3%	24,535	57.8%	△208
負債純資産合計	30,041	100.0%	41,040	100.0%	42,444	100.0%	+1,404



Aeon、 Fantasy 株式会社イオンファンタジー

12

店舗数の状況(2016年11月末日現在)

	Mollyfantasy	kidzooona	その他 *1	計
日本	439	5	44 (2)	488 (2)
中国	121 (4)	33	4	158 (4)
マレーシア	51	21	6	78
タイ	26	26	0	52
フィリピン	0	26	0	26
インドネシア	1	7	0	8
ベトナム	4 (4)	4 (4)	0	8 (8)
カンボジア	1 (1)	1 (1)	0	2 (2)
海外計	204 (9)	118 (5)	10	332 (14)
合計	643 (9)	123 (5)	54 (2)	820 (16)

注1:日本のその他の内訳は、らんらんらんど5店舗、PALO28店舗、その他11店舗です。 2: () 内数値は内数で、FC等(業務提携契約、業務委託契約、ライセンス契約を含む)の店舗数です。



Aeon 株式会社イオンファンタジー

2017年2月期第3四半期

累計期間

重点取組み概要

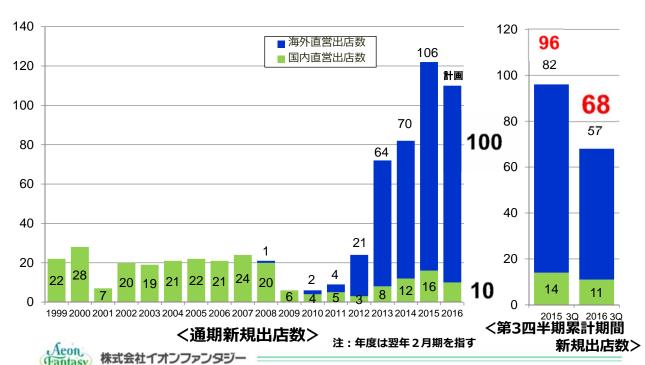




株式会社イオンファンタジー

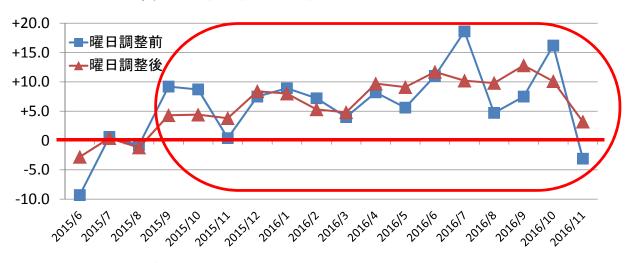
新規出店

■第3四半期累計期間での直営新規出店は68店舗。



国内 遊戯機械売上の伸長

- ■遊戯機械売上既存店伸び率がプラスに転じ1年経過。引き続きプラス 基調。(第3四半期会計期間既存店伸び率+6.7%)
- ■第1四半期会計期間+5.8%、第2四半期会計期間+10.4%
- (%) <遊戯機械売上既存店伸び率推移>



※既存店の伸び率に旧ファンフィールドの店舗は反映しておりません。



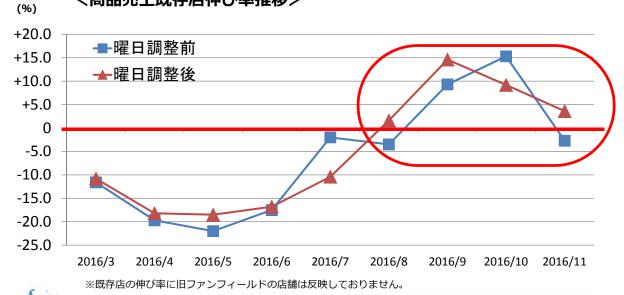
株式会社イオンファンタジー

16

国内 商品売上の回復

- ■商品売上既存店伸び率が、9月に31ヶ月ぶりにプラスとなる。
- ■第3四半期連結会計期間の商品売上既存店伸び率は+7.3%。

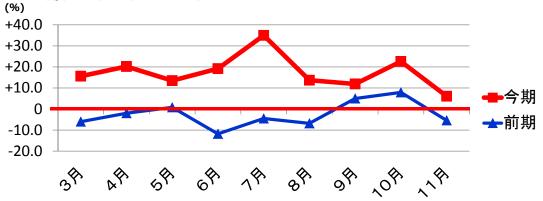
<商品売上既存店伸び率推移>



株式会社イオンファンタジー

国内 プライズ部門売上好調

<プライズ部門既存店伸び率推移>



<実施事項>

※部門別既存店伸び率は旧ファンフィールド店舗の数値を反映しております。

- ■社内SNS活用による好事例の展開スピード、精度アップ。
- ■バイイング組織変更による景品選定の精度アップ。
- ■合併によるナレッジの共有。
- ■当社オリジナルのゲーム機械・景品の導入拡大。



Aeon 株式会社イオンファンタジー

18

国内 旧ファンフィールド店舗の取組み

■営業利益ベースで連結数値に貢献。

<旧ファンフィールド店舗 営業利益推移>

(単位:百万円)

	1 Q	2 Q	3 Q	3Q累計
2016年度	3 7	158	▲ 5 4	141
2015年度	_	100	▲124	▲ 2 4
前年差	+ 3 7	+ 5 8	+70	+165

く実施事項>

- ■「モーリーファンタジー」ブランドへの変更。
- ■店舗改装の実施。
- ■遊戯機械の改廃実施による鮮度アップ。



Aeon Fantasy 株式会社イオンファンタジー

ネットを利用したプロモーションへのシフト

- ■従来は店内イベント中心のプロモーションを実施。
- ■ネットを利用したプロモーションへシフト。
 - ✓ SNSマーケティングの強化。(Facebook、Twitter、Instagram等)
 - ✓ 会員制アプリの開始。











Aeon 株式会社イオンファンタジー

20

WAON POINTの活用

- **■10月より全店に専用端末を利用した、WAON POINTの来店** ポイントサービスを開始。
- ■WAON POINTをメダルに交換することも可能に。
- ■10月延べ103千人、11月延べ381千人のお客さまがご利用。

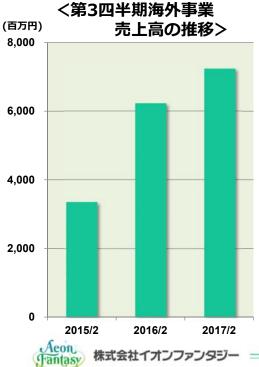




株式会社イオンファンタジー

海外事業の業績

■海外事業の売上高は前年比16.2%増。連結売上高に対する構成比は15.3%。



第3四半期	中	国 マレー		-シア タイ		フィリピン			
累計期間 実績	2016	2017	2016	2017	2016	2017	2016	2017	
	2月期	2月期	2月期	2月期	2月期	2月期	2月期	2月期	
既存 伸び率	_	+1.2	_	+9.0	_	Δ10.8	_	△13.1	
売上高	4,378	4,916	1,121	1,223	477	464	186	481	
店舗利益	531	381	178	210	Δ20	△93	16	65	
販管費	490	493	130	135	67	69	66	81	
1	1		l		1				

<前期比較可能な各計の収益>(単位: 百万円、%)

※中国は2016年5月に「営業税から増値税」への移行がサービス業に適用されました。これにより 売上高は約6%減りますが、同額以上の営業税等(費用計上)が減るため利益に対してはプラス要因 となります。この影響を考慮した実質的な既存伸び率は+5.8%となります。

△87 △163

Δ112

22

△50

△15

中国事業における事業拡大

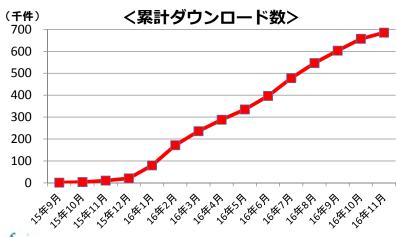
■2017年2月期第3四半期累計期間に31店舗の出店。

利益



中国におけるアプリ会員の拡大

- ■プリペイドカードと連動したアプリ会員システムを全店へ導入。
- ■アプリ会員システム上でカードへのチャージが可能。
- ■中国の全社売上の40%超がアプリ会員システム経由に。
- ■累計会員数11月末685千人。
- ■年間会員数目標600千人から800千人に上方修正。





Aeon Gantasy 株式会社イオンファンタジ

24

中国チェーンストア経営協会より表彰

- ■11月の中国チェーンストア経営協会表彰会において、イオンファンタ ジー中国が「イノベーション・お客さま体験革新賞」を受賞。
- ■アプリ会員システムを評価いただく。



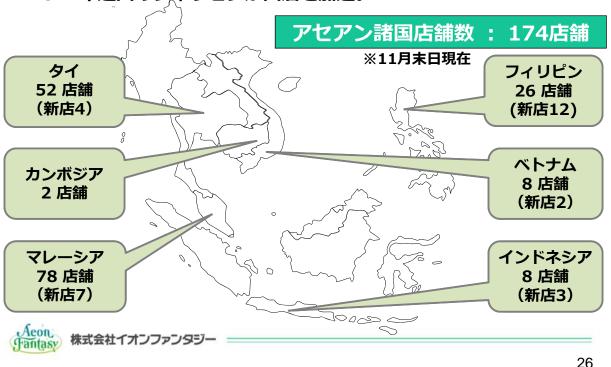




(Fantasy) 株式会社イオンファンタジ

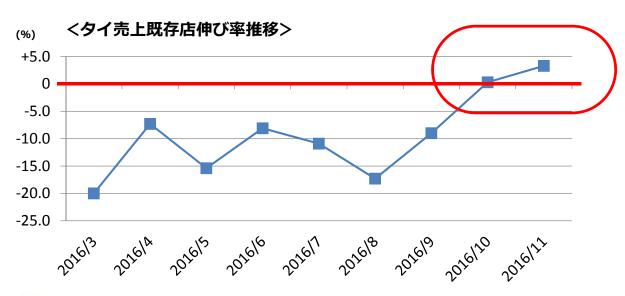
アセアン諸国における事業拡大

- ■2017年2月期第3四半期累計期間に28店舗の新規出店。
- ■2014年進出のフィリピンが出店を加速。



タイの既存店改善

- ■上半期に実施し効果があった活性化モデル店舗のノウハウを水平 展開。
- ■10月・11月と既存店伸び率がプラスに転換。





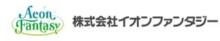
(Fantasy 株式会社イオンファンタジー

FANPEKKAマレーシア1号店オープン

■テーマ型インドアプレイグラウンド「FANPEKKA」のマレーシア1号店を11月にジョホール州にオープン。計画を上回るスタート。







28

2017年2月期

連結業績予想





2017年2月期の連結業績予想

(単位:百万円、%)

	2016/2期 実績	2017/2期 予想	前期比(%)
売上高	58,831	65,000	+10.5
営業利益	2,748	3,050	+11.0
経常利益	2,630	2,750	+4.5
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,480	1,620	+9.4
1株当たり当期純利益	76.70円	83.93円	7.23円増
1株当たり配当金	30円	30円	-

※ 前回(2016年10月5日)の決算補足資料から修正はございません。



Aeon、 Fantasy 株式会社イオンファンタジー =

30

連結業績予想の前提 〈セグメント情報〉

(単位:百万円)

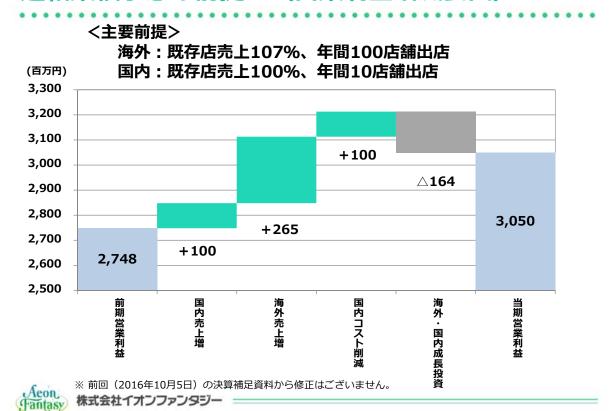
国内			海外	連結		
		中国	中国 アセアン 計		調整	連結計
売上高	52,600 (前期49,871)	9,000 (前期 6,423)				65,000 (前期58,831)
営業利益	2,760 (前期 2,683)		60 (前期 △122)		0 (前期 0)	3,050 (前期 2,748)

※ 前回(2016年10月5日)の決算補足資料から修正はございません。



Aeon 株式会社イオンファンタジー =

連結業績予想の前提 〈営業利益増減要因〉



業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。



32

Aeon Fantasy

株式会社イオンファンタジー

単体資料





2017年2月期第3四半期累計期間の業績(単体)

(単位:百万円)

	2016/2期 第3四半期 (前期)	2017/2期 第3四半期 (当期)	前期比 増減率
売上高	35,922	40,070	+11.5%
売上総利益	3,276	4,417	+34.8%
販管費	2,039	2,228	+9.3%
営業利益	1,237	2,189	+76.9%
営業外損益	Δ171	△5	_
経常利益	1,065	2,184	+104.9%
税引前四半期純利益	891	1,655	+85.7%
四半期純利益	464	774	+66.7%

Aeon、 Fantasy 株式会社イオンファンタジー

(単位:百万円)

	2017年 第3四		前期比	既存比	
	実績	実績構成比			
遊戱機械	32,480	81.1%	115.0%	107.7%	
商品(物販)	7,310	18.2%	100.3%	93.6%	
委託	110	0.3%	109.1%	_	
遊戱施設関係合計	39,901	99.6%	111.9%	104.7%	
その他	168	0.4%	60.3%	_	
売上高合計	40,070	100.0%	111.5%	104.5%	



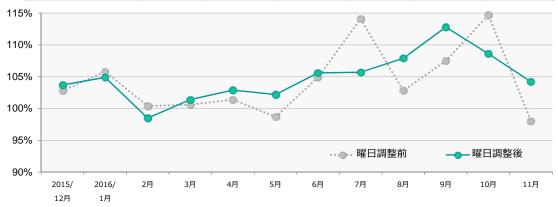
株式会社イオンファンタジー

3

既存店売上高前年比の月次推移(単体)

参考資料

FY2015 4Q~ FY2016 1Q	2015/12月	2016/1月	2月	3月	4月	5月
曜日調整前	102.8%	105.8%	100.4%	100.6%	101.4%	98.7%
曜日調整後	103.7%	104.9%	98.5%	101.4%	102.9%	102.2%
FY2016 2Q~3Q	6月	7月	8月	9月	10月	11月
曜日調整前	104.9%	114.1%	102.8%	107.5%	114.7%	98.0%
曜日調整後	105.6%	105.7%	107.9%	112.8%	108.6%	104.2%



Aeon 株式会社イオンファンタジー

※既存店前年比に旧ファンフィールドの店舗は反映しておりません。

(単位:%)

	2016年2月期 第4四半期		2017年2月期 第1四半期		第2四半期		第3四半期	
	売上高 構成比	既存比※2	売上高 構成比	既存比※2	売上高 構成比	既存比※2	売上高 構成比	既存比※2
時間制遊具	4.4	120.6	4.4	105.6	4.6	103.8	4.5	102.4
体感	9.0	107.2	9.4	82.3	8.7	90.3	8.6	93.7
カード	16.3	96.6	15.9	82.6	16.0	94.8	18.4	108.9
メダル	25.4	102.4	24.9	97.6	26.3	104.2	24.4	100.2
プライズ	40.6	106.4	39.8	116.3	39.6	121.5	39.6	113.4
シール	3.4	86.4	4.3	88.1	3.4	94.1	3.1	91.2
カプセル玩具	1.1	107.1	1.1	109.2	1.0	93.0	1.0	100.9
売上高合計	100.0	101.9	100.0	^{*1} 99.0	100.0	106.6	100.0	105.8

 ${
m * 1:2017}$ 年2月期第1四半期の既存比は、前年同期に対し休日の回数が少ないため、その影響は2.0%減となり部門別既存比の趨勢は101.0%となります。 Aeon、 Gantasy 株式会社イオンファンタジー = ※2:部門別既存比の伸び率は、旧ファンフィールド店舗の数値を反映しております。



5

四半期毎の収益の推移(単体)

参考資料

(単位:百万円、%)

	2016年2月期 第4四半期	增減率 (%)	2017年2月期 第1四半期	増減率 (%)	第2四半期	増減率 (%)	第3四半期	増減率 (%)
売上高	13,949	+34.1	12,883	+27.4	14,634	+6.0	12,551	+4.6
売上原価	11,827	+31.5	11,621	+26.9	12,630	+4.5	11,400	0.0
売上総利益	2,121	+50.4	1,262	+32.1	2,004	+16.4	1,150	+92.1
販管費	675	+42.9	763	+27.4	739	+4.2	725	Δ0.7
営業利益	1,446	+54.1	498	+40.0	1,264	+25.0	425	_
営業外損益	225	Δ36.9	△16	_	3	_	7	_
経常利益	1,671	+29.1	482	Δ16.7	1,268	+99.6	432	_
特別損益	△247	_	△459	_	Δ10	_	△58	_
税引前利益	1,424	+38.9	23	△95.8	1,258	+176.6	373	_
法人税等	504	Δ5.1	223	△35.7	458	+415.4	199	_
四半期純利益	919	+86.3	△199	_	800	+118.6	174	_

(単位:百万円)

	2015/	2期末	2016/	2016/2期末		2017/2期 3Q期末	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	増減
流動資産	5,899	21.2%	6,339	19.4%	7,656	23.0%	+1,317
固定資産	21,971	78.8%	26,367	80.6%	25,587	77.0%	△780
資産合計	27,870	100.0%	32,706	100.0%	33,243	100.0%	+536
流動負債	6,332	22.7%	7,098	21.7%	7,416	22.3%	+317
固定負債	218	0.8%	370	1.1%	391	1.2%	+21
負債合計	6,550	23.5%	7,469	22.8%	7,808	23.5%	+338
純資産合計	21,320	76.5%	25,237	77.2%	25,435	76.5%	+198
負債純資産合計	27,870	100.0%	32,706	100.0%	33,243	100.0%	+536



Aeon Gantasy 株式会社イオンファンタジー =

7

参考資料

重点戦略・海外事業戦略





2017年2月期重点戦略

- ■潜在市場が大きく、高いROIモデルの海外において出店を加速。
- ■既存店のリモデルとブランドの確立により国内の増収増益を実現。

市場成長率:高

市場成長率

低

海外

海外

- 潜在市場が大きい中国、アセアン諸国への出店加速
- ブランドカ、店舗開発力向上による 高ROIモデルの確立
- 新業態「FANPEKKA」の出店加速
- 中国におけるアプリ会員の拡大

国内

- 国内既存店のリモデルとブランド確立
- イベント事業等への進出
- 国内インドアプレイグラウンド業態 の拡大
- コスト構造改革

Aeon 株式会

市場シェア:高

株式会社イオンファンタジー

9

海外事業戦略:高ROIである海外展開の加速

市場シェア:低

海外展開の 考え方

出店余地 大きい



店舗 ROIが 高い



独自性が高い

- ✓ 中間所得層増大
- ✓ 子どもの数増大
- ✓ 店舗ROIは 海外>国内
- **√** ブランドカ
- ✓ オリジナル商品
- ✓ キャラクター
- ✓ 日本式接客

2017年2月期 目標 出店目標 100店 売上高:127億円 海外営業利益:2.9億円 海外利益構成比:9.5%

(2016年2月期の海外利益構成比2.3%)

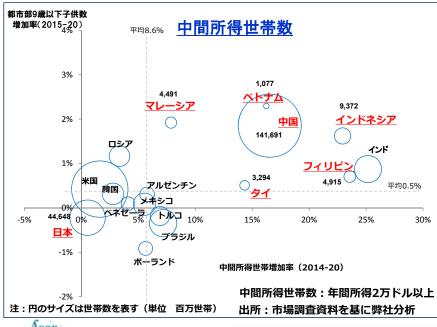


株式会社イオンファンタジー

10

海外潜在市場ポテンシャル分析:中間所得世帯数

■中間所得世帯数及び子どもの数が増大する、潜在市場ポテンシャル が高い国々に進出している。



進出国名	現在 店舗数	2017年 2月期 出店目標		
インドネシア	8	5		
中国	158	60		
ベトナム	8	_		
フィリピン	26	1 2		
マレーシア	78	11		
タイ	5 2	1 2		
日本	488	10		
(2016年11月末現在)				

(2016年11月末現在)

11

Aeon 株式会社イオンファンタジー

海外店舗のROI改善(初期と直近店舗比較)

■最新出店店舗は、初期に出店した店舗に比べてROIが大きく 改善している。

	中国の初期出	店10店舗平均	最新出店10店舗平均	
	A:出店直後1年間	直近1年間	B:直近1年間	B-A
坪当たり売上 (出店直後1年間を100)	100	155	142	42%改善
坪当たり初期投資額 (初期出店10店舗平均を100)	10	00	70	30%低減
ROI (本社経費除く)	11.1%	17.3%	23.7%	12.6ポイント 改善

ROI改善の理由

■ブランドカの向上

▶■客数の増大

▶ ■売上高の拡大

▶■好立地への出店

▶ ■家賃比率の改善

■店舗初期投資額の減少



fantasy 株式会社イオンファンタジー

国別戦略

• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	イオンG以外 主要施策 への出店比率
中国	■出店の加速(目標60店舗) ■山西省・福建省・湖南省へ の進出
マレーシア	■新規事業の展開 ■「FANPEKKA」の出店
91	■出店立地の厳選 ■「FANPEKKA」の出店
その他 アセアン諸国	■フィリピン、インドネシア への出店加速 ■ベトナム駐在員事務所の設立
Aeon 株式会社イオンファンタジー	(出店比率は2016年11月末現在)